

【別紙】 評価・検証チェックシート

【評価】 A: 十分できている B: 概ねできている C: 不十分である —: 評価対象外

章	条	項	号	条文	評価内容	評価	今後の対応
	前文			<p>市民が直接選挙する議員で構成される地方自治体の議会は、自治体の長と共に二元代表制の一翼を担っており、監視機能や立法機能の発揮が期待されている。また、地方自治の本旨にのっとり団体自治と住民自治に根ざしたまちづくりにおいて、地方自治体の議会が果たすべき役割は、地方分権の進展に伴って大きなものとなっている。</p> <p>このような中、江別市においては、江別市自治基本条例に規定された議会の役割と責務に基づいて、市民意思の的確な把握に努め、自由かつたな討議を通じて、立法機能、政策提案機能など持てる権能を十分に駆使し、活力と責任のある議会活動が求められている。</p> <p>私たち江別市議会（以下「議会」という。）は、議会に関する基本的事項を定め、自らの責務を果たし、市民参加を推進し、市民との協働の下、市民の意思を市政に適切に反映し、市民福祉の向上と市政の発展を目指し、市民に信頼される議会を築くため、議会の最高規範として江別市議会基本条例（以下「条例」という。）をここに制定する。</p>	評価対象外	—	
第1章	（目的） 第1条			この条例は、議会及び議員が担うべき基本的事項を定め、議会の活性化を図り、市民の負託に応えられる議会の実現を目指すことを目的とする。	評価対象外	—	
第2章	（議会の活動原則） 第2条			議会は、次に掲げる原則に基づき、活動しなければならない。	（各号において評価）	—	
議会及び議員の活動原則		第1号	公正性、透明性を確保し、市民に信頼される開かれた議会を目指すこと。	会議の公開をはじめ、議会だよりやホームページを活用することにより開かれた議会を目指している。	A		
		第2号	市民等の多様な意見や知見等を的確に把握するよう努め、政策調査、政策提案及び政策提言の充実を図り、市政に反映させるための議会運営に努めること。	市民等の意見の把握に努めているものの、政策提案や政策提言などを行うには至っていない。	C	政策提案や政策提言などの充実に向けた検討をすべきである。	
		第3号	市長その他の執行機関（以下「市長等」という。）の市政運営に対する監視及び評価機関としての役割を果たすこと。	本会議や委員会における審査のほか、一般質問などにより、その役割を果たしている。	A		
		第4号	市民の傍聴及び参加意欲を高める議会運営に努めること。	市民の傍聴及び参加意欲を高める議会運営に努めている。	A		
		第5号	情報公開に努め、議会の議決又は運営について、その経緯、理由等を市民に対し説明する責任を果たすこと。	議会だよりやホームページを活用することにより情報公開に努めているが、経緯、理由等の説明については不足している部分もある。	B	より多くの方に配慮した手法を検討する必要がある。	
		第6号	この条例の趣旨を踏まえ、議会に関して定められた条例、規則等及び議会内の申合せ事項等を継続的に見直すこと。	継続的な見直しを行っている。	A		

【別紙】 評価・検証チェックシート

【評価】 A: 十分できている B: 概ねできている C: 不十分である —: 評価対象外

章	条	項	号	条文	評価内容	評価	今後の対応	
	(議員の活動原則) 第3条			議員は、次に掲げる原則に基づき、活動しなければならない。	(各号において評価)	—		
				第1号	議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを十分認識し、議員間の自由な討議を重んじること。	議会が言論の府であることや合議制の機関であることは十分認識しているが、自由討議の活用や運用については課題が残る。	B	自由討議の意義や目的について理解を深め、その運用方法を検討する必要がある。
				第2号	市政全般についての課題、市民の意見、要望等を的確に把握し、これを政策形成に反映できるよう、自己の能力を高めるために不断の研さんに努めること。	様々な活動を通じて、各議員が研さんに努めている。	A	
				第3号	議会の構成員として一部の団体及び地域の代表にとどまらず、市民全体の福祉の増進を目指して活動すること。	一部の団体や地域の代表にとどまらず、市民全体の福祉の増進を目指して活動している。	A	
				第4号	議会活動について、市民に対する説明責任を果たすこと。	各議員がそれぞれの活動の中で説明責任を果たしている。	A	
	(会派) 第4条		第1項	議員は、議会活動を行うため、会派を結成することができる。	評価対象外	—		
			第2項	会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成し、活動するものとする。	評価対象外	—		
			第3項	会派は、政策決定、政策提案、政策提言等に関し、必要に応じ会派間で調整を行い合意形成に努めるものとする。	会派間で調整を行い、合意形成に努めているが、調整が不足している部分もある。	B	さらなる合意形成に努める必要がある。	
	第3章 市民と議会との関係	(市民参加及び市民との連携) 第5条		第1項	議会は、市民に対し、積極的にその有している情報を公開し、説明責任を十分に果たさなければならない。	積極的に情報を公開し、説明責任を果たしているが、情報公開の内容や手法についてはさらなる充実の余地がある。	B	情報公開の内容や手法の充実に向けた検討が必要である。
第2項				本会議のほか、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会(以下「委員会」という。)等の会議は、原則として公開するものとする。	本会議及び委員会の会議は、原則公開している。	A		
第3項				議会は、地方自治法に規定された制度等を十分活用し、市民の専門的な識見等を議会の政策形成に反映させるよう努めるものとする。	制度等は一定程度活用しているが、市民の専門的な識見等を議会の政策形成に反映させることについては課題が残る。	B	さらなる制度の活用について検討が必要である。	
第4項				議会は、議員と市民が市政全般にわたり、情報及び意見を交換する場を多様に設けるとともに、政策提案の拡大に努めるものとする。	市民と議会の集いを開催しているが、情報及び意見を交換する場を多様に設けるには至っておらず、政策提案の拡大にはつながっていない。	C	市民と議会の集いの在り方のほか、政策提案の拡大につながる手法などの検討をすべきである。	
第5項				議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置付け、審査においては、当該請願及び陳情をした者の求めに応じて、意見を聴く機会を設けるものとする。	請願及び陳情をした者の求めに応じて、意見を聴く機会を設けている。	A		

【別紙】 評価・検証チェックシート

【評価】 A: 十分できている B: 概ねできている C: 不十分である —: 評価対象外

章	条	項	号	条文	評価内容	評価	今後の対応
	(議会広報の充実) 第6条			議会は、議会及び市政に対する市民の関心を高めるため、多様な議会広報活動に努めなければならない。	市民の関心を高めるため、多様な議会広報活動に努めている。	A	
第4章 市長等と 議会との 関係	(市長等との関係) 第7条			議会は、市長等と常に緊張感のある関係を保持し、政策提案、政策提言等を通じて、市民福祉の向上と市政の発展に取り組まなければならない。	各議員や各会派において政策提案、政策提言等を通じた取組を行っているものの、議会としての取組には課題が残る。	B	議会として政策提案、政策提言等を行うための検討が必要である。
	(質疑及び質問) 第8条	第1項		本会議及び委員会における議員と市長等との質疑又は質問は、広く市政上の論点及び争点を明確にするよう努めるものとする。	質疑や質問は、広く市政上の論点及び争点を明確にするよう努めている。	A	
		第2項		本会議又は委員会に出席した市長等は、議員から質疑又は質問を受けたときは、その論点を整理するため、議長又は委員長の許可を得て、答弁に必要な範囲で反問し、又はその趣旨を確認することができる。	市長等による反問権の行使は認められているものの、行使される事例は少ないことから、その運用について検討の余地がある。	B	反問権の運用について検討が必要である。
	(議会への重要政策等の説明) 第9条	第1項			議会は、市長等が提案する重要な政策等について、議会審議における論点を整理し、その政策水準を高めるため、市長等に対し、次に掲げる事項を明らかにするよう求めるものとする。	必要に応じて、第1号から第8号までの事項を明らかにするよう求めているものの、重要な政策等の判断については課題が残る。	B
第1号			政策提案の根拠				
第2号			提案に至るまでに検討した他の政策の是非を含めたその経緯				
第3号			他の地方公共団体の類似する政策との比較検討				
第4号			市民参加の実施の有無とその内容				
第5号			総合計画との整合性				
第6号			関係法令、条例等				
第7号			財源措置				
第8号		将来にわたるコスト計算と政策効果					
	第2項		議会は、前項に掲げる政策等の提案を審議するに当たって、立案及び執行における論点、争点を明らかにするとともに、執行後における政策評価に資する審議に努めるものとする。	立案及び執行における論点、争点を明らかにするとともに、執行後における政策評価に資する審議に努めている。	A		
第5章 委員会の 活動	(委員会の役割) 第10条	第1項		委員会は、本会議における審議、表決を行うための審査及び調査機関としての役割を担うものとする。	審査及び調査機関としての役割を担っている。	A	
		第2項		委員会は、市政の課題に迅速かつ的確に対応するため、その専門性及び特性を十分発揮しなければならない。	委員会では、専門性及び特性を発揮しているものの、さらに向上する余地がある。	B	委員会の専門性や特性をさらに発揮するための努力が必要である。
	(討議による合意形成) 第11条			委員会は、議案等の審査又は調査に当たっては、その課題などについて共通理解を深めるため、委員相互間の自由な討議により、議論を尽くして合意形成を図るよう努めるものとする。	自由討議の機会は与えられているものの、活用している事例は少なく、その効果を発揮しているとは言い難い。	C	自由な討議の目的や手法について、理解を深めるための検討をすべきである。

【別紙】 評価・検証チェックシート

【評価】 A: 十分にできている B: 概ねできている C: 不十分である —: 評価対象外

章	条	項	号	条文	評価内容	評価	今後の対応
	(委員会の運営) 第12条	第1項		委員会は、委員の資質向上及び政策の充実に資するため、独自に調査研究するよう努めるものとする。	資質向上及び政策の充実に資するため、独自に調査研究するよう努めている。	A	
		第2項		委員会は、その役割を果たすために公聴会制度、参考人制度等を活用するよう努めるとともに、請願者及び陳情者の求めに応じて、陳述機会を設けるものとする。	陳情者について陳述機会を拡大したほか、参考人制度を活用しているが、公聴会制度は活用できていない。	B	各種制度をより活用するための検討が必要である。
		第3項		委員会は、審査及び調査に当たっては、資料等の公開に努め、市民に対し分かりやすい議論を行うよう努めなければならない。	資料等の公開に努めているものの、その公開手法については検討の余地がある。	B	資料等の公開手法について、検討が必要である。
第6章 議会機能の強化	(政務活動費) 第13条	第1項		会派又は議員は、政策提案、政策提言、調査研究その他の活動に資するために交付を受けた政務活動費の執行に当たっては、江別市議会政務活動費の交付に関する条例等を順守しなければならない。	政務活動費の執行に当たり、条例等の規定を順守している。	A	
		第2項		用途については、証拠書類等を公開することにより透明性を確保するものとする。	証拠書類等をホームページなどで公開することにより透明性を確保している。	A	
	(議員研修の充実強化) 第14条		議会は、議員の政策調査、政策提案、政策提言等の能力の向上に向けて、議員研修の充実強化を図るものとする。	議員会研修を実施するなど、議員研修の充実強化を図っている。	A		
	(議会図書室) 第15条		議会は、議員の調査研究に資するために設置する議会図書室を適正に管理し、運営するとともに、その図書、資料等の充実に努めるものとする。	議会図書室を適正に管理、運営し、図書、資料等の充実に努めているものの、物理的・財源的な制約がある。	B	さらなる充実に向けた検討が必要である。	
	(議会事務局の組織体制の整備) 第16条		議会は、議会の政策提案及び政策提言を補助する組織として、議会事務局の調査及び法務機能の充実強化を図るものとする。	充実強化に向けた努力をしているものの、議会事務局の調査及び法務機能の充実強化は十分とは言えない。	B	充実強化に向けた体制整備について検討が必要である。	
第7章 議員の政治倫理、定数及び報酬	(議員の政治倫理) 第17条	第1項		議員は、市民全体の奉仕者として政治倫理及び人格の向上に努め、常に良心に従い、誠実かつ公正に、その職務を行わなければならない。	評価対象外	—	
		第2項		議員は、市民の代表者として、良心と責任感を持って、品位を保持し、市民の疑惑を招くことのないよう行動しなければならない。	評価対象外	—	
	(議員定数) 第18条		議員定数は、市政の現状と課題、将来予測等を十分に考慮し、議会の審議能力と市民意思の適正な反映を確保するなど、総合的な観点から、江別市議会議員定数条例で定めるものとする。	評価対象外	—		

【別紙】 評価・検証チェックシート

【評価】 A: 十分できている B: 概ねできている C: 不十分である —: 評価対象外

章	条	項	号	条文	評価内容	評価	今後の対応
	(議員報酬) 第19条			議員報酬は、行財政改革の視点だけでなく、市政の現状と課題、将来予測等を踏まえ、市政における議員の活動、役割、責務等を十分に考慮し、江別市議会議員の議員報酬等に関する条例で定めるものとする。	評価対象外	—	
第8章 議会改革	(議会改革の推進) 第20条			議会は、議会改革に継続的に取り組むため、専門的知見を活用するなど調査研究を進め、委員会等において、常に議論を深めるものとする。	議会改革に継続的に取り組むため、委員会等において、常に議論を深めている。	A	
第9章 最高規範性及び見直し	(最高規範性) 第21条	第1項		この条例は、議会における最高規範であって、議会は、この条例の趣旨に反する議会の条例、規則等を制定してはならない。	この条例の趣旨に反する議会の条例、規則等は制定していない。	A	
		第2項		議会及び議員は、この条例に定める理念及び原則並びにこれらに基づいて制定される条例、規則等を順守し、議会を運営しなければならない。	この条例に定める理念及び原則並びにこれらに基づいて制定される条例、規則等を順守し、議会を運営している。	A	
		第3項		議会は、議員にこの条例の理念を浸透させるため、一般選挙を経た任期開始後速やかに、この条例の研修を行うものとする。	この条例の研修は行っているものの、実施時期については改善の余地がある。	B	任期開始後、より速やかに研修を実施できるよう検討が必要である。
	(見直し) 第22条			議会は、この条例の目的が達成されているかどうかを委員会等において検証し、市民の意見、社会情勢の変化等を勘案し、この条例の改正を含めて適切な措置を講ずるものとする。	条例の目的の達成状況について検証を行っている。	A	